

平成28年6月 定例議会報告

鎌ヶ谷市6月定例議会が、6月16日から7月1日までの16日間の会期で開催されました。主な議案の概要として、1. 学校教育法等の一部改正に伴い、新たな学校の種類として義務教育学校が創設されたことによる、遺児手当支給条例等の一部を改正する条例の制定。2. 児童福祉施設や家庭的保育事業の整備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、設備の基準や幼稚園教諭、小学校教諭又は養護教諭の普通免許状を有する者を保育士とみなすことのできる特例の規定を定める条例の制定。3. 平成28年度鎌ヶ谷市一般会計補正予算（第1号）においては、情報セキュリティ強化対策事業、保育士確保に係る支援を行う、宿舍の借り上げ支援事業の補助金を計上するほか、B型肝炎予防接種の定期接種化に要する経費、五本松小学校の用地購入に要する経費を計上し、補正予算として約2億8千万円を追加しました。

また北初富駅・新鎌ヶ谷駅への市川、西船橋方面路線バス乗り入れの実効性に関する調査事業の着手を求める陳情を採択とするほか、議会からの国への意見書として、1. 保育士の処遇の改善を求める意見書、2. 保育料の負担軽減に関する意見書、義務教育費国庫負担制度の堅持等に関する意見書、4. 別居・離婚後の親子の断絶を防止する法整備に関する意見書、5. 難病対策の拡充に関する意見書を提出しました。議案に対する代表質疑は、公明党を代表して佐藤誠議員が行いました。

特集：子育て支援の充実へ（平成28年度事業より）

『かまがや子育て応援アプリ』配信 （予防接種管理機能付き）



『かまがや子育て応援アプリ』は、児童センター便り、各種手当等の手続きなどを掲載している「子育て応援サイトかまっこ応援団」の情報を確認できるほか、予防接種のスケジュール管理や、予防接種情報、お近くの予防接種が受けられる病院を検索できるマップ機能があり、本年5月から配信しています。

※「Google play」「App Store」からアプリを入手できます

『かまがや子育てガイドブック』配布 （フルカラー版）



『かまがや子育てガイドブック』は、市内の遊び場情報、妊娠・出産・子育てに関する様々な情報をまとめた冊子となります。また、市内の子育て関連施設（医療機関、保育園等）を表示した地図を新たに掲載しています。本年4月から母子健康手帳の交付、転入の際に配布するほか、児童センター等においても配布しています。

放課後児童クラブの施設及び運営の充実

《体験教室の実施》

夏休みや春休みなどの長時間保育において、子ども達に様々な体験をしてもらうため、ボール遊び（サッカー）、英語、ダンス、音楽などの教室を実施します。

《施設の環境整備》

子ども達が明るく衛生的な環境において過ごせるように、施設の環境整備を図るため、平成28年度は次の事業を実施します。

- ・鎌ヶ谷小学校
放課後児童クラブ専用施設の新設
- ・中部小学校
放課後児童クラブ施設建替に向けた実施設計
（平成29年度に施設整備を予定）
- ・初富小学校
放課後児童クラブ室改修に向けた実施設計
（平成29年度に改修を予定）

待機児童対策を推進！



（平成28年4月に開園した民間保育所を視察する、公明党鎌ヶ谷市議団）

鎌ヶ谷市では、民間保育所と小規模保育事業所の誘致などを積極的に進めたことにより、昨年につき平成28年4月1日時点で待機児童ゼロ（国の基準）を達成しました。平成28年度も、待機児童ゼロを継続的に取り組むため、民間保育所1施設と小規模保育事業所1施設の誘致を行うとともに、鎌ヶ谷保育園のトイレ及び遊戯室の大規模改修を行うなど、『子育て世代にやさしい街』の実現に取り組んでいます。

6月定例議会での市政に対する一般質問(概要)



矢崎 悟 議員

1. 高齢者の健康増進と生きがい対策について

健康寿命延伸に対する取り組みは、高齢者の生活の質の低下を防ぐとともに、経済的負担の軽減に繋がります。より身近な健康づくりの環境整備および高齢者の社会参加推進として、①公園やふれあいの森への健康器具やベンチの設置、②健康の駅についての調査・研究、③歩道のバリアフリー化、④市ホームページへの認知症簡易チェックサイトの設置、⑤ボランティアポイント制度の導入について提案・要望を行いました。

2. 東道野辺7丁目地区の道路冠水について

当地域は、大雨による度重なる水害が発生しており、その対策について質問しました。大柏川第二調節地や二和川の整備が進む中、今年度より上流部に位置する馬込沢地区の河川整備事業がはじまりました。この整備により大雨の際の河川の水位が下がることにより、当地域の治水安全度も高まるとの答弁がありました。その上で整備完了までに多くの時間を要することから現在可能な対策を質問し、船取線からの雨水流入の抑制や、東道野辺ふれあいの森における治水整備を実施していくほか、上流部での、公共施設を活用した雨水浸透施設の設置や各宅地への雨水浸透枳の設置普及に努め、軽減に繋げていくとの答弁がありました。



川原 千加子 議員

1. 災害対策について

大規模災害時、被災者にとっては、その後の生活再建が重要となります。生活再建のための情報提供のあり方や、弁護士等の専門家団体との災害協定の必要性などについて質問を行い、今後の取り組みへの前向きな答弁がありました。また、被災者生活再建支援金などの請求を行う際に必要となる「罹災証明書」の発行を、迅速かつ効果的に行うために、被災者支援システム導入の必要性を訴えたところ、「導入の可能性について情報部門と十分協議していきたい」との答弁がありました。昨年12月議会で要望した避難所のマンホールトイレについては、「設置に向けて今年度詳細な検討を行っていく」との答弁がありました。

2. 子育て支援について

本年12月に、白井市との共同で開設予定の「病児・病後児保育」の概要について質問を行いました。今後、市内で病児保育を実施することの質問に対しては、現在鎌ヶ谷総合病院とは検討協議を重ねているとのことで、小児科医の確保や、保育士の研修とその確保、市内小児医療機関との連携等が課題として挙げられているとのことです。一日も早い実施に向けて、整備を進めてもらえるよう要望しました。



小易 和彦 議員

1. 鎌ヶ谷小学校周辺地区における「ゾーン30」について

ゾーン30は、地区内の通過交通を抑制すること、更に地区内における車両の最高速度を30キロメートル以下とすることで、交通事故の抑制を図る施策で、本年2月1日に本市で初めて指定されました。指定から約2カ月が経過した4月の調査では、通過交通及び平均速度において大きな減少はなかったものの、時速40キロメートルを超える速度で走行する車両は減少したとのことです。調査結果を踏まえ、今後の対策について伺いました。市からは「調査結果を警察と検証した上で、地域住民の皆様と共有し、市と地域住民、関係者が協力して、さらなる安全対策の必要性を含め、検討していく」との答弁がありました。

2. 若者の政策形成過程への参画について

18歳選挙権の実施に伴い、若者の政治的関心を高める取組は重要となります。若者を対象としたモニター制度の導入や若者会議の開催、審議会等における若者の登用などについて伺いました。市からは「これからの未来を担っていく若者の意見を取り入れていくことは、まちづくりを推進していく上で重要であることから、他市の事例を参考にしながら、より良い方法を調査・研究していく」との答弁がありました。



佐藤 誠 議員

1. 市道20号線(くぬぎ山1及び4丁目付近)歩道等道路整備について

市道20号線は、松戸・鎌ヶ谷間の交通量の多い幹線道路にあって、朝夕には西部小や三中の児童生徒が利用していることから歩道拡幅を伴う安全対策が望まれてきました。同時に市道20号線と交差する元山5号踏切が改良すべき危険踏切として国交省から指定され、当踏切の改善も求められる事になり整備計画の方向性を伺いました。市からは「360mの事業区間のうち、約260mを第1期区間として官舎用地を活用し、両側に2.5mの歩道を整備し、道路幅員は、全体で13mとする計画です」との答弁がありました。

2. 市道29号線(東中沢3丁目先4中通学路)の安全対策について

市道29号線は、四中の生徒が多数利用している中、道路が急坂や狹隘のため大きな事故も懸念されています。また畑や雑木林などの現状から犯罪が発生しやすく、交通・防犯の両面から更なる安全対策について質問しました。市からは「滑り止め舗装、看板や路面表示などを行ってきたが、今後も効果的な方法を検討したい。また防犯については、増員によるパトロール強化を検討している」との答弁がありました。



池ヶ谷富士夫 議員

1. 不登校児童生徒の現状と対応について

現状は、ふれあい談話室の運営、県スクールカウンセラーや県訪問相談担当教員等により対応を行っていますが、特に県訪問相談担当教員の活用について質問しました。市からは「東葛6市に2名を配置し、学校とつながりを持っていない児童生徒の家庭訪問を行っているが、2名の配置では、相談要請に迅速な対応ができない」との答弁がありました。そこで、市単独事業として、大きな成果を収めている柏市の事例を挙げ、当市での訪問相談担当教員の導入計画について質問しました。市からは「適した人材の確保及び財源確保が必要になるため検討課題としていく」との答弁がありました。

2. 図書館の新設について

当市の市民一人あたりの蔵書数は、他市に比較して少なく、蔵書数を増やすにも開架スペースが狭く、現状は飽和状態となっております。また施設も経年劣化が進んでいる状況です。各自治体の文教レベルは、図書館を見ればわかるというぐらい、図書館の位置づけは大変重要であります。以上の観点から、将来的な図書館の新設の考えについて質問しました。市からは「将来、財政的な対応が可能と判断される段階で、検討すべき。」との答弁がありました。